

動物実験に関する自己点検・評価報告書

城西大学

2024年7月

本報告書は、城西大学動物実験規程第 12 章（自己点検・評価・検証）第 45 条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2024（令和 6）年 7 月 16 日

作成者：和田政裕（委員長）、一色恭徳（副委員長）、石黒直哉（委員）、内田昌希（委員）、五十嵐庸（委員）、中谷祥恵（委員）

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン</p> <p>城西大学動物実験委員会 審査手順書</p> <p>城西大学動物実験規程 別紙 (1) 城西大学における動物実験組織図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に則って、機関内規程(城西大学動物実験規程、平成 19 年 10 月 12 日制定・施行、平成 22 年 6 月 23 日一部改正)が定められており、適正であると判断できる。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>薬学部動物管理委員会規程</p> <p>理学部動物管理委員会規程</p> <p>生命科学研究センター運営委員会規程</p> <p>動物実験関連委員会委員名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>基本指針に適合する動物実験委員会の下、動物実験管理委員会、各種関連委員会が組織され、適正に運営されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p>

改善すべき点は見当たらない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

城西大学動物実験規程
城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン
城西大学動物実験委員会 審査手順書
動物実験に関する書式（書式 1～書式 10）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験は城西大学動物実験規程第 9 章に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式 1）、審査、手続きを経て、適正に実施される体制になっており、適正と判断できる。

4) 改善の方針、達成予定時期

改善すべき点は見当たらない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

城西大学動物実験規程
城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン
城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程
薬学部安全マニュアル、理学部安全マニュアル
城西大学薬学部 放射線障害予防規程
向精神薬試験研究施設設置者登録証

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

安全管理に注意を要する動物実験に関連する様式や手続きやマニュアル等が定められ適切に管理されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

改善すべき点は見当たらない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

書式 4 飼養保管施設設置承認申請書
書式 5 実験室設置承認申請書
書式 6 飼養保管施設廃止届
書式 7 実験室廃止届
書式 9 飼養保管施設（変更・追加等）申請書
書式 10 実験室（変更・追加等）申請書
実験動物施設利用の手引（生命科学研究センター、薬学部動物施設、理学部動物施設）
城西大学 実験動物逸走防止及び逸走時の対応マニュアル
緊急時の対応マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設の設置、変更、廃止に関する要件および確認に必要な書式類が規程に定められており、各飼養保管施設の実験動物管理者により適切に管理されている。また、実験動物施設利用の手引において、生命科学研究センター、薬学部動物施設、理学部動物施設の飼育管理や運用について定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

改善すべき点は見当たらない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

総括管理(動物実験委員会)、施設管理(動物実験管理委員会並びに各学部動物実験管理委員会)及び自己点検評価委員会と分けて運営している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>城西大学動物実験委員会 審査手順書</p> <p>動物実験委員会会議録・活動報告</p> <p>動物実験管理委員会議事録・活動報告</p> <p>飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>城西大学動物実験規程等に基づき、学長の諮問機関として動物実験委員会が開催され、動物実験計画書等が指針、規程等に適合しているか審議が行われた。なお、動物実験委員会の開催前に動物実験管理委員会において、動物実験計画書等が適切であるか判断が行われており、審査手順書に基づいた活動が行われている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験委員会会議録</p> <p>動物実験管理委員会議事録</p> <p>書式 1 動物実験計画書</p> <p>書式 2 動物実験結果報告書</p> <p>書式 3 動物実験計画（変更・追加）承認申請書</p> <p>書式 8 動物実験終了・中止報告書</p> <p>動物実験の自己点検票（様式 2-1）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書等を審査し、学長の承認を得た。また、2023 年度に実施されたすべての動物実験計</p>

画について動物実験結果報告書および動物実験の自己点検票が提出され、動物実験の実施状況の把握がされている。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 城西大学動物実験規程 城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程 圧力容器定期自主検査表（大型、小型） 安全管理に注意を要する動物実験計画書一覧 動物実験の自己点検票（様式 2-1） 遺伝子組換え実験に関する定期報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 組換え DNA 実験安全委員会では、遺伝子組換え実験の申請時に法令に適合した P1A 動物施設を使用すること確認している。また、動物実験の自己点検票や動物実験結果報告書、遺伝子組換え実験に関する定期報告書により該当実験について事故や問題等の報告はされていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 実験動物施設利用の手引（生命科学研究センター、薬学部、理学部） 実験動物飼養管理業務標準手順書（生命科学研究センター） SPF モニタリング検査成績（生命科学研究センター） 動物施設環境検査実務報告書（生命科学研究センター）

<p>作業点検日報</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検票</p> <p>実験動物飼養施設報告書</p> <p>実験動物の飼養保管状況一覧</p> <p>飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物飼養施設報告書により、下記報告を受けた。</p> <p>21 号館：一部の利用者による餌切れ・水切れ等が複数回発生した。</p> <p>生命科学研究センター：学内の全学停電事故により、生命科学研究センターへの電力供給が数時間に渡り停止した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>実験動物管理者により、実験動物が適切に飼養保管されている。しかしながら 21 号館において一部の利用者による餌切れ・水切れ等が複数回発生したため、当該利用者に注意を促したことが報告された。実験動物の適切な飼養保管のため、今後も利用者に対して、口頭や書面による注意喚起を続けていくことが必要と考える。</p> <p>なお、生命科学研究センターは、学内の全学停電事故により電力供給停止が数時間あったものの、非常用電源により空調機等が作動したためトラブルはなかった。今後も緊急時に適切な対応を行うよう努める。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>書式 4 飼養保管施設設置承認申請書</p> <p>飼養保管施設一覧</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検票</p> <p>飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）</p> <p>入退室記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設の設置時に動物実験規程にて定められた設置基準を満たしていることを動物実験委員会が確認している。また、毎年提出される実験動物飼養保管状況の自己点検票を受けて、動物実験委員会が視察を行い、施設が適正に維持されていることを確認している。</p> <p>ただし、生命科学研究センターでは設備の老朽化および昨今の気温変化を受けて、飼育室の適切な温度管理に問題が生じているとの報告を受けている。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期

生命科学研究センターの空調機は今年度（2025 年 1～3 月）に更新予定となっている。空調機更新後も引き続き温度管理について確認を行い、問題点があれば本学執行部へ報告するよう努める。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

教育訓練開催通知
 教育訓練プログラム
 教育訓練資料（動画・スライド）
 教育訓練受講者名簿
 実験動物管理者の教育訓練受講修了証・回覧記録
 動物実験委員会会議録・活動報告
 動物実験管理委員会議事録・活動報告

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験実施者に対し、基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。また、対面での開催および確認テストを導入したことにより不適な使用事例が激減しているとの報告がある。

実験動物管理者については、実験動物管理者の代表者が公私立大学実験動物施設協議会主催の「実験動物管理者の教育訓練」を受講し、他実験動物管理者等に情報共有を行うことで専門情報を習得している。

4) 改善の方針、達成予定時期

改善点は見当たらない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

城西大学動物実験自己点検・評価報告書
 動物実験委員会ホームページ (<https://www.josai.ac.jp/jikken/animalexam/>)

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験管理自己点検評価委員会を介して実施し、城西大学における動物実験について自己点検が実施されている。また、城西大学動物実験委員会のホームページにて、城西大学動物実験自己点検・評価報告書をはじめとした城西大学における動物実験に関する情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期
改善すべき点は見当たらない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

--

2023(令和5)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種 承認番号	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果				中止	使用数“0” のもの	
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上发表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*			
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続			終了
JU 23001	60	50								1				▽			
JU 23002	104	104	48	48					1			○					
JU 23003	116	8								1					▽		
JU 23004			147	326					1					▽			
JU 23005			300	408					1					▽			
JU 23006			144	127					1					▽			
JU 23007	280	400							1					▽			
JU 23008	36	36									卒業論文研究	○					
JU 23009	70	59									卒業論文研究	○					
JU 23010	36	36									卒業論文研究	○					
JU 23011	48	48										○					
JU 23012	48	48										○					
JU 23013			48	48									○				
JU 23014	32	32										○					
JU 23015			80	80								○					
JU 23016			80	80								○					
JU 23017			60	60								○					
JU 23018			178	178					1			○					
JU 23019	30	60												▽			
JU 23020			64	21										▽			
JU 23021			20	0											1	1	
JU 23022	20	0												▽		1	
JU 23023	60	0												▽		1	
JU 23024	20	0	40	0										▽		1	
JU 23025	4	0												▽		1	
JU 23026	110	110	450	450	50	0								▽			
JU 23027			60	0										▽		1	
JU 23028	96	96							1		卒業論文研究	○					
JU 23029	96	0	120	5										▽			
JU 23030	72	15	108	0										▽			
JU 23031			48	28										▽			
JU 23032	6	0													1	1	
JU 23033	260	260							1		卒業論文研究	○					
JU 23034			200	56					1		卒業論文研究			▽			
JU 23035	150	110							1		卒業論文研究			▽			
JU 23036			160	74							卒業論文研究			▽			
JU 23037			60	5										▽			
JU 23038			80	0											1	1	
JU 23039			80	0											1	1	
JU 23040	30	0	30	166						1	学会誌投稿予定			▽			
JU 23041	18	17										○					

2023(令和5)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果						
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上发表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 ⁰ のもの
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了		
JU 23042	80	70	190	175								○					
JU 23043			64	26					1	1	学会誌投稿予定			▽			
JU 23044			45	45						1	学会誌投稿予定	○					
JU 23045	184	32							1	1	学会誌投稿予定			▽			
JU 23046	60	10								1	学会誌投稿予定			▽			
JU 23047	60	20							1					▽			
JU 23048	60	25							1					▽			
JU 23049			10	10						1	学会誌投稿予定	○					
JU 23050			186	223					1		卒業論文研究			▽			
JU 23051	226	226									修士論文研究 卒業論文研究	○					
JU 23052	30	30								1		○					
JU 23053	54	50										○					
JU 23054	20	22	3	1										▽			
JU 23055			200	200					1			○					
JU 23056	20	5	360	360					1					▽			
JU 23057			320	346							卒業論文研究	○					
JU 23058			360	320					1			○					
JU 23059	130	106										○					
JU 23060	96	96									他大学紀要投稿予定	○					
JU 23061	42	36							1		他大学紀要投稿予定	○					
JU 23062			270	108					1		国際誌投稿予定			▽			
JU 23063			144	25						1	国際誌投稿予定			▽			
JU 23064			144	0						1	国際誌投稿予定			▽			1
JU 23065			27	0					1		卒業論文研究				1		1
JU 23066			120	255					1		卒業論文研究			▽			
JU 23067			96	26										▽			
JU 23068	75	55									卒業論文研究			▽			
JU 23069	44	44									卒業論文研究	○					
JU 23070	100	0													1		1
JU 23071	30	30	35	0						1	国際誌投稿予定			▽			
JU 23072			84	55										▽			
JU 23073	48	36	60	60										▽			
JU 23074			320	0											1		1
JU 23075			50	0										▽			1
JU 23076			48	50										▽			
JU 23077	80	4									卒業論文研究			▽			
JU 23078			60	50					1					▽			
JU 23079			40	6						1	学会誌投稿予定			▽			
JU 23080					148	148						○					
JU 23081					36	36						○					

2023(令和5)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種 承認番号	動物申請数、使用数								研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果				中止	使用数 ⁰ のもの	
	ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上发表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*			
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続			終了
JU 23082			6	0										▽			1
JU 23083			6	0										▽			1
JU 23084			8	4										▽			
JU 23085					4	8								▽			
JU 23086							220	220		1			○				
JU 23087							150	150	1				○				
JU 23088			20	10										▽			
JU 23089			36	0												1	1
JU 23090			110	0						1	国際誌投稿予定			▽			1
JU 23091	30	5								1	国際誌投稿予定			▽			
JU 23092			30	0										▽			1
JU 23093	24	1												▽			
JU 23094	18	0												▽			1
JU 23095	18	0														1	1
JU 23096	12	0														1	1
JU 23097	16	0												▽			1
JU 23098	12	12											○				
JU 23099			84	83							卒業論文研究		○				
JU 23100	9	0	50	0										▽			1
JU 23101	48	40									卒業論文研究		○				
JU 23102			20	20					1				○				
計	3428	2444	6211	4618	238	192	370	370	25	16						10	24

* 「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。

動物実験申請総数:102件 中止件数:10件 総使用動物数:7624頭 学会発表数: 25 件 誌上发表: 16報

2023年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：木村光利（委員長）、清水純（副委員長）、小林順、北川浩子、高木豊、森田勇人、茂木肇、中田博之、鈴木研太（外部委員）、須長陽子（外部委員）、三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、星野雅文（事務長）

1 2023年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2023年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

2 2023年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、飼養保管施設・動物実験施設設置の承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

1) 第1回 日時：2023年4月11日、13時30分～14時20分、於：清光会館1階第1会議室

・実験施設設置承認許可（新規・変更・廃止等）申請書（新規：受付番号 R05001～003 3件、変更：承認番号 LH30002、LH30003、LH30004、08100-A、08100-B、08100-C、08100-D 7件、廃止：承認番号 LH22004 1件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

・実験計画申請書類数 100件（受付番号 05001～05100）（内新規動物実験実施計画書 16件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を、新規の C と D を中心に審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。

計画書の内訳ランク A0件、B16件、C11件、D73件

2) 第2回 日時：2023年10月2日、10時00分～10時40分、於：清光会館1階第1会議室

・動物実験計画書に関し、中止届（承認番号 JU23032）、変更届（承認番号 JU23007、23050、23075 3件）、および新規申請書（受付番号 05101、05102 2件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

新規申請書内訳ランク A0件、B1件、C0件、D1件

(2) 動物実験管理委員会から提出された 2022 年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

日時：2023年4月11日、13時30分～14時20分、於：清光会館1階第1会議室
実施報告書 101件（承認番号 JU22001～JU22101）（101件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

3 2023年度の動物実験委員会活動の自己評価

報告書の提出・審議状況より、年度当初の活動計画1)～5)を適正に実行できたものと考えられる。

4 その他

1) 城西大学動物実験規程の改定および組織改編について

城西大学動物実験規程が令和5年4月1日付で改正されたことが報告された。また、組織改編により委員構成が変更された。

2) 2023年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」について

集合研修により実施した。(参加者 419名)

第1回 日時:2023年4月28日(金)13:45~15:45

第2回 日時:2023年5月13日(土)10:00~12:00

3) 2023年度「飼養保管施設の維持管理状況」について

動物実験委員会委員により視察が行われ、施設は適正であった。

4) 2023年度「動物実験室の自己点検」調査について

「動物実験室の定期的な点検」に対応するため、現在、動物実験室の責任者による自己点検を実施した。

5) 外部検証(2017年度日本実験動物学会第1クール実施)に関する指摘事項の対応報告について

対応困難な事項を除き、指摘事項は全て対応していることが報告された。

6) 2023年度「実験動物慰霊式」について

対面により実施し、実験に供された動物への感謝をこめて供養を行った。(参加者 198名)

日時:2024年3月8日(金) 13:45~16:00

以上

2024年4月8日(月) 木村 光利(委員長)、玉井 彩子(事務局)

2023 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	須永（委員長）、河合（副委員長）、岡崎、田中享、大島（新）、佐野、菊地、岩田、松崎、望月（JAC）
会議回数	5回（メール会議4回含） 議事録は報告書の下に添付
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育・訓練の実施（生命研、薬学部動物管理委員会合同で行う） 2. 動物実験関係書類の作成提出の依頼を行う。（7月、1月） 3. 提出された動物実験関係書類の予備審査を行い、動物実験委員会に提出する。（9月、3月）。 4. 動物慰霊式の開催（生命研、薬学部動物管理委員会合同で行う）
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物実験委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2023 年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」を4年ぶりに対面にて実施した。また、確認テストを導入し、これを施設利用登録の条件とした。参加者：419 名 2-（1）中間期での追加の動物実験計画書等の動物実験関係書類の提出を依頼した。（7月）、加筆修正後、動物実験委員会に提出した（9月）。 2-（2）2023 年度動物実験結果報告関係および2024 年度実験計画書等の動物実験関係書類の作成を依頼した。（2024 年1月） 3-（1）中間期での追加の動物実験計画書等の動物実験関係書類の予備審査を行い、加筆修正後、動物実験委員会に提出した（9月）。 3-（2）2023 年度動物実験結果報告関係書類および2024 年度実験計画書等の動物実験関係書類の予備審査を行い、加筆修正後、動物実験委員会に提出した（2024 年3月）。 4. 動物慰霊式を3月8日（金）13：30より23号館209教室にて行い、教員、大学院生、学部学生等198名が参列した。 5. その他 <ol style="list-style-type: none"> （1）次年度の動物実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の実施要領を決定した。 <ol style="list-style-type: none"> 1回目 4月26日（金）15：00～2時間程度、10-402 教室 2回目 5月11日（土）10：00～2時間程度、10-201 教室 （1回目の動画で対応）
活動の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」を対面で行ったことと確認テストを導入したことで、ここ数年で増加していた不適切な使用事例が激減した。 2. 例年通り、適切に行えた。 3. 例年通り、適切に行えた。 4. 4年ぶりに一堂に会して行ったことで、動物実験に対する意識向上につながった。

2023年度 第1回 動物実験管理委員会 議事録

開催日 9月7日 (木)

メール会議

出席者：岡崎、田中、河合、須永、大島、佐野、菊地、岩田、松崎、望月 (JAC)、玉井 (実験センター事務) (敬称略、順不同)

動物実験関係書類の追加申請 (9/7 締め切り) の予備審査について

下記の通り、委員長が予備審査を行い動物実験員会に提出することとした。

新規実験計画書 1件

変更追加申請書 3件

中止報告書 1件

以上
文責 須永

2023 年度 第 2 回 動物実験管理委員会 議事録
開催日 12 月 18 日 (月)
メール会議

議題

1. 動物慰霊式の開催方法について

例年は参加者が会場に集い、黙祷、慰霊の弔辞により慰霊祭を開催していたが 2020 年度～2022 年度は新型コロナウイルスの影響により、献花台への参拝および芳名帳への記帳により動物慰霊式を実施したが、今年度は会場で行うこととし、実施要領について次回メール会議にて決定することとした。

報告事項

1. 動物実験計画書の修正について（配布資料あり）

以下は、動物実験委員会の了解を得ている。

次年度の外部検証対応として、動物実験計画書の一部修正を行った。

（修正箇所は黄マーカー箇所です）

①「動物死体の処理方法」の追加

外部検証資料「自己点検・評価事項チェック票」（P.3 参照）において動物実験計画書の記載項目に含まれていなかったため、追記した。

②動物飼育場所および実験実施場所

内容に変更はありませんが、建物ごとに室名を記載できるよう形式を変更した。

③動物の苦痛の種類と軽減法

人道的エンドポイントの（ ）に記載する内容が分かりやすくなるよう追記した。

以上
文責 須永

2023 年度 第 3 回 動物実験管理委員会 議事録
開催日 12 月 25 日 (月)
メール会議

議題

1. 動物慰霊式の実施要領について

- (1) 3 月 8 日 (金) 13 : 30 より 23 号館 209 教室にて行うこととした。
- (2) 動物使用数の調査の際に、慰霊式出席者の人数を合わせて調査することとした。
- (3) 出席予定者の人数によってサテライト会場を設定することとした。
- (4) 司会は須永が務め、黙とうの後、動物実験管理委員会委員長木村先生から挨拶を行うこととした。

以上
文責 須永

2023 年度 第 4 回 動物実験管理委員会 議事録

開催日 3 月 4 日 (水)

メール会議

出席者：岡崎、田中、河合、須永、大島、佐野、菊地、岩田、松崎、望月 (JAC)、玉井 (実験センター事務) (敬称略、順不同)

議題

1. 2024 年度動物実験に関する教育訓練並びに施設説明講習会について

(1) 2024 年度も昨年同様会場にて実施することとした。

(2) 実施日について、下記の通りとした。

1 回目 4 月 26 日 (金) 15 : 00 ~ 2 時間程度 (組換え DNA 教育訓練終了後)

2 回目 5 月 11 日 (土) 10 : 00 ~

(3) 内容について以下の通りとすることとした。

1. 動物実験委員会委員長挨拶 : (3 min) 木村先生

2. 講習会の概要 (2 min) 須永

3. 日本実験動物学会教育動画 (24.5 min)

4. 城西大学動物実験ハンドブックの概要 (10 min) 須永

5. 人獣共通感染症について (15 min) 木村先生

6. 21 号館動物室 (4F) (20 min) 八巻先生

7. 16 号館動物室 (6F) (10 min) 菊地先生

8. 22 号館実習用動物保管庫 (7F) (10 min) 一色先生

9. 生命科学研究センター (20 min) 岩田先生

10. 不適切な使用事例と確認テスト (10 min) 菊地先生

(確認テストは終了後各自実施、受験 (満点) を利用申請の条件とする)

以上

文責 須永

2023 年度 第 5 回 動物実験管理委員会 議事録

開催日 3 月 6 日 (水) 15 : 00 ~ 18 : 30

16-518 室にて

出席者 : 岡崎、田中、河合、須永、大島、佐野、菊地、岩田、松崎、望月 (JAC)、玉井 (実験センター事務) (敬称略、順不同)

議題

1. 動物実験関係書類の申請 (2/28 締め切り) の予備審査について

1) 提出された 2022 年度動物実験結果報告書 (書式 2)、終了・中止報告書 (書式 8)、動物実験計画 (変更・追加) 承認申請書 (書式 3) の記載内容等の同委員会によるチェック、判断を行った。

提出された 102 件の 2022 年度動物実験結果報告書 (書式 2)、終了・中止報告書 (書式 8)、動物実験計画 (変更・追加) 承認申請書 (書式 3) の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を動物実験管理委員会へ提出することとした。

2) 提出された動物実験計画書 (書式 1) の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された 99 件の 2024 年度動物実験計画書 (書式 1) の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を動物実験管理委員会へ提出した。

以上
文責 須永

2023（令和5）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 和田政裕 副委員長 一色恭徳 委員 石黒直哉 内田昌希 五十嵐庸 中谷祥恵
会議回数	1回（メール会議）
実施状況と結果	各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価についてメール会議を行った。 動物実験委員会委員長からの指示により、2022（令和4）年度 城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長へ提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は、予定通りにおこなうことができた。

2023（令和5）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 和田 一色 内田 中谷 五十嵐

期 間 2023（令和5）年6月11日～2023（令和5）年6月16日

議案

1. 2022（令和4）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について
2022（令和4）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、原案通り承認された。

以上

2024年 6月 3日

2023年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	16号館動物室
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	7月5日(水)に空調機器保守等の実施
5 消毒作業	7月6日(木)より2日間で実施
6 設備の設置・修繕	動物天秤の修理
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行うことで、適正利用を推進していきたい。

2024年 6月 3日

2023年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	21号館動物室
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	八巻 努
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	
5 消毒作業	7月12日(水)より2日間で実施。
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	一部の利用者において、餌切れ・水切れ等が複数回発生して いた。
9 自己評価・報告等	多くの利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養 環境が維持されたが、一部の利用者において、餌切れ・水切 れが複数回発生しており、当該利用者には注意を促した。今 後も飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、マナー向上に むけた注意喚起等を行うことで、適正利用を推進していく。

2024年 6月 3日

2023年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	22号館実習用動物保管庫、
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	一色 恭徳
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	7月7日(金)と12月8日(金)の2回にわたり、空調機器保守 等を実施
5 消毒作業	7月10日(月)より2日間で実施
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が 維持された。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止す る、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行うことで、適 正利用を推進していきたい。

2024年 5月 15日

2023年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	理学部動物室
2 管理者氏名	飯田 正敏
3 実験動物管理者氏名	森田 勇人
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	マウス室及び水棲生物室共に清掃、各フィルターの交換等適 宜行われていた。
5 消毒作業	2023年10月20日に行い、問題無いとの報告があった。
6 設備の設置・修繕	マウス室において、温度・湿度記録計を設置した。加湿器の水 の供給方法を変更した。
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	問題はなかった。
9 自己評価・報告等	利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用していた。ま た、動物運搬では配布された収納バックにより運搬していた。

2024年 5月 27日

実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	生命科学研究センター
2 管理者氏名	岡崎 真理
3 実験動物管理者氏名	木村 光利
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・モニタリング検査も記入	[環境検査] (原則年3回実施) 6月 7、21日 異常なし 10月 25日 異常なし 2月 14、28日 異常なし [SPFヘアレスラットモニタリング検査] (原則年3回実施) 6月 12日 異常なし 10月 10日 異常なし 2月 5日 異常なし [保守点検] 2月 7日 ホットクープ (大型・小型)保守点検・装置部品交換
5 消毒作業	7月 18日～7月 28日 実施
6 設備の設置・修繕	[修繕] 5月 26日 ドア修理 (404室 (飼育室2)・412室 (飼育室7)) 7月 12日 緑色汚れによる給水フィルターの点検・交換 7月 21日 5階洗浄室コンセントの故障 (ブレーカー再立ち上げにより復旧) 8月 30日 5階洗浄室ボイラー排水管水漏れ修理 9月 5日 4・5階ドア塗装 10月 3日 ボイラー給水ポンプ修理 12月 20日 空調機 AC-1 の送風ファンインバーター部品交換 3月 8日 換 1階検疫室 コンセント工事及びペンキ塗り [整備] 8月 31日 照度計およびエレクターシェルフ購入 10月 4日 動物計量皿購入 12月 1日 ランタン及びヘッドライト設置 (停電対策用) 2月 7日 カーテン設置 (ロッカー室) 2月 15日 フリーザー設置 (1階倉庫)

7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	学内において、全学停電事故(11月9日)が発生し、生命科学研究センターへの電力の供給が数時間に渡り停止した。
9 自己評価・報告等	2023年度生命科学研究センターにおける実験動物の飼養につきましては、全学停電事故が発生しましたが年間を通し、概ね良好な飼育環境を維持することができました。